



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東  
 コード番号 7812 URL https://www.crestec.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績 (2020年7月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,967	△7.9	163	△26.3	120	△38.6	70	△48.4
2020年6月期第1四半期	4,309	△4.1	222	△27.4	195	△31.0	137	△26.0

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 73百万円 (32.5%) 2020年6月期第1四半期 55百万円 (△76.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	23.00	—
2020年6月期第1四半期	44.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第1四半期	13,582	4,255	28.1	1,245.97
2020年6月期	12,918	4,232	29.6	1,242.08

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 3,815百万円 2020年6月期 3,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	24.00	—	12.00	36.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 2. 配当予想の修正については、本日 (2020年11月12日) 公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,338	2.3	575	△16.4	503	△13.9	262	1.9	85.76

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 2. 業績予想の修正については、本日 (2020年11月12日) 公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。  
 3. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の連結業績予想の記載を省略していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	3,248,900株	2020年6月期	3,248,900株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	186,765株	2020年6月期	173,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	3,073,032株	2020年6月期1Q	3,068,380株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により急激に悪化した前期から大きく回復傾向にはあるものの第2波への警戒もあり、いまだ完全回復には時間を要する状況でした。

一方、世界経済においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により急減速した前期から回復傾向にはあるものの、いまだ完全回復には時間を要する状況でした。米国では、新型コロナウイルス感染拡大は続いているものの経済は大きく回復しつつあり、欧州でも感染拡大は続いているものの徐々に経済は回復しつつあります。中国では、新型コロナウイルスの感染がほぼ収束し、世界に先駆けて経済の回復が進んでおります。東南アジア/南アジアでも感染拡大は続いているものの経済活動は徐々に回復傾向にあります。

こうした経済状況のもと、第1四半期では当社グループの主要顧客である日系メーカーでは、世界的な景気回復傾向により、多くの顧客において生産活動が徐々に回復しつつあり、当社グループの取引においても多くの国や地域で徐々に回復しつつあります。国内では、多くの顧客との取引が回復傾向にあり、東南アジアでは、新事業分野である生活用品やヘルスケア用品などの取引は堅調に推移し、厳しいロックダウンの影響があったフィリピンでもようやく一定量の実業活動は回復しました。中国では、全般的な生産活動の復調や医薬品分野の継続的な拡大により堅調に推移しました。

このような中、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による従業員への感染リスクや社内感染による生産停止などの企業活動への影響を最小限に抑えるよう、国内及び海外子会社において感染防止対策を徹底すると同時に、前期までの中期経営計画の経営重点戦略である“事業強化”と“体制強化”を引き続き推進してまいりました。事業強化では、新たな事業領域の拡大に向けた企業連携の強化を推進し、体制強化では“次なる成長に向けた人材育成”として大学との共同研究の拡大や社内に教育推進担当を設置し教育体制の強化に取り組んでおります。

このような経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,967,331千円（前年同期比7.9%減）、営業利益は163,990千円（前年同期比26.3%減）、経常利益は120,269千円（前年同期比38.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70,666千円（前年同期比48.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

## ① 日本

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期から大きく減少した電器や輸送機器関連の主要顧客の取引も、第1四半期に入り取引が徐々に復調したことにより、収益も回復傾向となりました。

このような状況のもとで、日本では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,096,283千円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益は17,084千円（前年同期比69.0%減）となりました。

## ② 中国地域

新型コロナウイルスの感染がほぼ収束しており、華東地区では輸送機器関連の回復に加え、欧米メーカーを含めた医薬品関連が引き続き堅調に推移しました。華南地区でも取引の復調に加え、東莞工場の継続的な改革により、収益は改善しております。

このような状況のもとで、中国では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は904,587千円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は97,435千円（前年同期比196.5%増）となりました。

## ③ 東南アジア/南アジア地域

フィリピンでは、厳しいロックダウンで制限されていた生産活動も徐々に緩和され、取引は大きく回復しました。インドネシアでは、一部、新型コロナウイルス感染拡大による影響はあるものの、生活用品やヘルスケア用品などの新規顧客との取引が増加し、収益改善も進みました。タイ、ベトナムでは、新型コロナウイルスの感染はほぼ収束に向かっており、顧客の生産活動も回復傾向にあります。

このような状況のもとで、東南アジア/南アジアでは、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,624,451千円（前年同期比17.9%減）、セグメント利益は40,644千円（前年同期比71.4%減）となりました。

## ④ 欧米地域

新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、米国では主要顧客である輸送機器メーカーとの取引は、概ね堅調に推移しました。更に大統領選関連の取引もあり増収にはなりましたが、継続的に取り組んでいる新規翻訳事業への投資による費用が増加しております。欧州でも新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、顧客の生産活動は徐々に回復傾向にあります。

このような状況のもとで、欧米では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は342,009千円（前年同期比22.1%増）、セグメント利益は17,497千円（前年同四半期はセグメント損失810千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,681,133千円となり、前連結会計年度末に比べ766,038千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が461,786千円、受取手形及び売掛金が262,790千円増加したことによるものであります。

固定資産は4,901,352千円となり、前連結会計年度末に比べ101,886千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が92,874千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,582,485千円となり、前連結会計年度末に比べ664,151千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,522,490千円となり、前連結会計年度末に比べ577,654千円増加いたしました。これは主に短期借入金が337,027千円、支払手形及び買掛金が239,363千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,804,464千円となり、前連結会計年度末に比べ63,474千円増加いたしました。これは主にリース債務が47,655千円減少しましたが、長期借入金が116,864千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,326,955千円となり、前連結会計年度末に比べ641,129千円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,255,530千円となり、前連結会計年度末に比べ23,022千円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が29,052千円減少しましたが、利益剰余金が33,756千円、非支配株主持分が28,131千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて、2021年6月期の通期連結業績予想を公表いたしましたのでご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,981,640	3,443,426
受取手形及び売掛金	2,612,250	2,875,041
商品及び製品	948,219	939,015
仕掛品	485,172	546,508
原材料及び貯蔵品	341,902	323,840
その他	563,194	570,155
貸倒引当金	△17,285	△16,853
流動資産合計	7,915,094	8,681,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,517,604	1,492,741
機械装置及び運搬具（純額）	1,649,165	1,635,000
工具、器具及び備品（純額）	153,820	150,939
土地	561,323	559,972
建設仮勘定	47,135	890
その他（純額）	72,850	69,479
有形固定資産合計	4,001,899	3,909,025
無形固定資産		
のれん	98,167	95,136
その他	25,050	22,728
無形固定資産合計	123,217	117,865
投資その他の資産		
投資有価証券	83,069	82,543
退職給付に係る資産	39,735	35,503
繰延税金資産	388,962	389,762
その他	371,738	372,038
貸倒引当金	△5,385	△5,385
投資その他の資産合計	878,121	874,462
固定資産合計	5,003,239	4,901,352
資産合計	12,918,334	13,582,485

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,420	1,188,784
短期借入金	2,803,217	3,140,245
1年内返済予定の長期借入金	997,892	986,720
リース債務	305,531	311,155
未払法人税等	94,426	102,774
賞与引当金	96,572	163,509
未払金	605,852	561,385
その他	91,922	67,914
流動負債合計	5,944,835	6,522,490
固定負債		
長期借入金	1,718,220	1,835,085
リース債務	598,013	550,358
役員退職慰労引当金	73,910	75,262
退職給付に係る負債	343,731	336,741
製品保証引当金	7,000	6,900
繰延税金負債	114	115
固定負債合計	2,740,990	2,804,464
負債合計	8,685,826	9,326,955
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	215,400	215,400
資本剰余金	190,034	190,034
利益剰余金	3,968,310	4,002,067
自己株式	△131,283	△144,416
株主資本合計	4,242,460	4,263,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,405	△5,895
為替換算調整勘定	△379,234	△408,286
退職給付に係る調整累計額	△37,386	△33,579
その他の包括利益累計額合計	△422,026	△447,760
非支配株主持分	412,074	440,205
純資産合計	4,232,508	4,255,530
負債純資産合計	12,918,334	13,582,485

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,309,666	3,967,331
売上原価	3,196,969	2,957,019
売上総利益	1,112,696	1,010,312
販売費及び一般管理費		
役員報酬	13,710	13,710
給料	336,567	348,362
賞与引当金繰入額	22,656	24,639
役員退職慰労引当金繰入額	1,364	1,352
退職給付費用	17,934	23,286
貸倒引当金繰入額	93	43
減価償却費	24,367	39,673
のれん償却額	1,703	3,031
賃借料	58,644	55,832
研究開発費	12,719	10,109
その他	400,369	326,279
販売費及び一般管理費合計	890,129	846,321
営業利益	222,566	163,990
営業外収益		
受取利息	2,152	1,134
受取配当金	126	94
作業くず売却益	9,712	9,060
その他	6,212	14,262
営業外収益合計	18,203	24,552
営業外費用		
支払利息	39,008	34,063
為替差損	2,293	29,013
その他	3,689	5,196
営業外費用合計	44,992	68,273
経常利益	195,777	120,269
特別利益		
固定資産売却益	—	104
特別利益合計	—	104
特別損失		
固定資産売却損	37	70
固定資産除却損	32	1,096
特別損失合計	69	1,166
税金等調整前四半期純利益	195,708	119,207
法人税、住民税及び事業税	35,735	39,722
法人税等調整額	18,931	△10,773
法人税等合計	54,667	28,949
四半期純利益	141,040	90,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,962	19,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,077	70,666

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	141,040	90,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,068	△489
為替換算調整勘定	△85,578	△20,512
退職給付に係る調整額	1,735	3,807
その他の包括利益合計	△85,910	△17,193
四半期包括利益	55,129	73,064
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,998	44,932
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,869	28,131

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア/ 南アジア地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,174,479	876,038	1,979,044	280,103	4,309,666	—	4,309,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94,166	38,584	10,963	35,037	178,752	△178,752	—
計	1,268,645	914,623	1,990,008	315,141	4,488,418	△178,752	4,309,666
セグメント利益 又は損失 (△)	55,179	32,860	142,179	△810	229,410	△6,843	222,566

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア/ 南アジア地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,096,283	904,587	1,624,451	342,009	3,967,331	—	3,967,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,887	64,664	10,268	42,368	214,188	△214,188	—
計	1,193,170	969,252	1,634,719	384,377	4,181,520	△214,188	3,967,331
セグメント利益	17,084	97,435	40,644	17,497	172,661	△8,670	163,990

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## （重要な後発事象）

（連結子会社の工場移転に伴う固定資産の取得及び譲渡に関連する特別利益及び特別損失の計上）

当社は、2020年10月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるSUZHOU CRESTEC PRINTING CO.,LTD.（以下、「蘇州クレストック社」）の工場移転に伴う固定資産の取得及び譲渡を決議し、売買及び譲渡契約を締結いたしました。当該事象に関連して特別利益及び特別損失が発生する見込みです。

## （1）取得及び譲渡の理由

当社の連結子会社である蘇州クレストック社について、蘇州市当局からの地下鉄8号線駅周辺再開発事業にかかる移転要請に対し、当局と代替用地について協議を重ね、移転先として同じ蘇州市内に当局から土地（借地権）を取得し、当該取得に伴い、当局からの移転要請にも応じることといたしました。

## （2）取得する固定資産の概要

- ① 名称 工場用地
- ② 所在地 18 Tai Shan Road, Suzhou, Jiangsu, P.R.CHINA
- ③ 敷地面積 15,190.4㎡
- ④ 取得価額 5,468千人民元（約85百万円）

## （3）譲渡する固定資産の概要

- ① 固定資産の内容 土地使用权及び建物
- ② 所在地 596-598 Chang Jiang Road, Suzhou, Jiangsu, P.R.CHINA
- ③ 移転補償金総額 25,696千人民元（約400百万円）
- ④ 帳簿価額 10,635千人民元（約165百万円）

## （4）相手先の概要

- （取得先） 蘇州市自然資源・規画局
- （譲渡先） 蘇州高新区（虎丘区）土地管理局

## （5）取得及び譲渡の日程

- 取得実行日 2020年11月（予定）
- 譲渡実行日 2021年4月～5月（予定）

## （6）当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象により、2021年6月期の連結決算において、移転補償金20,556千人民元（約320百万円）を特別利益に計上し、固定資産除却損10,635千人民元（約165百万円）を特別損失に計上する予定です。

なお、移転補償金の一部5,140千人民元（約80百万円）については、移転完了予定である2023年6月期に計上する予定です。

## （連結子会社における固定資産の減損損失の計上）

当社は、2020年10月14日開催の取締役会にて、当社の連結子会社であるCRESTEC PRINTING (DONGGUAN) LTD.において、著しい市場環境の変化に適した生産体制の構築を図り、更なる収益の改善に取り組むべく、同社が保有する生産設備について縮小することを決議しました。当該決議に伴い、2021年6月期第2四半期にて同社の生産設備（主に機械装置）の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額5,487千人民元（約85百万円）を減損損失として特別損失に計上いたします。

なお、回収可能価額としては、設備の正味売却価額によっております。